

# 在日韓国人政治犯・李哲の獄中記 『長東日誌』(李哲[著]) 6・26 出版の集い



1975年11月22日、韓国中央情報部は「在日同胞留学生スパイ団を摘発した」と発表し、世界に大きな衝撃をもたらしました。世に言う「11・22事件」です。1970、80年代、当時の韓国軍事政権はことある毎に、在日同胞スパイ事件をでっち上げ、政権安保のために利用してきました。

そして死刑判決7名をはじめ、百数十名が不当な重刑により、長い獄中生活を強いられました。その間、日本中で燃え上がった救命、救援運動は、在日政治犯全員の釈放という大きな成果を勝ち取りました。

以降も、地道に積み上げてきた再審裁判への取り組みは、現在までに在日政治犯38名の再審無罪判決が確定し、現在も再審裁判は進行中です。2019年には、文在寅大統領による国家を代表しての“謝罪の言葉”も実現されています。これらは、韓国の民主化運動の進展と大きく連動するものです。

友人の皆さん、市民の皆さん、6月26日“出版の集い”でお目にかかりましょう!!



同友会に韓国「民主主義者・金槿泰賞」(2018.12.28)

「獄中記『長東日誌』は、在日韓国良心囚同友会の代表である李哲さんが、当時6歳と4歳だった子どもたちに残すために、獄中13年を振り返り、こつこつと書き上げた獄中記録です。その後、2015年に再審無罪の判決、また2019年に在日政治犯に対する文在寅大統領の国家を代表する謝罪の言葉を受けるに至って、25年間、公開してこなかったこの日誌を、約2年余にわたり推敲して、加筆し、東方出版より出版することを決意しました。



文在寅大統領から謝罪の言葉 (2019.6.27)

この本には、中央情報部での拷問に屈した悔悟、獄中での苦悩と人間再生のための闘い、そして獄中での処遇改善と不当な暴力に対する果敢な闘争の様子が、生々と描かれています。極限まで追い詰められた人間が、どう葛藤して、自問し、どこに希望を見い出して人間復活の道を歩み、勝利することができたのか。この本を通して深く共鳴することができるでしょう。」

(在日韓国良心囚同友会「案内文」より)

## 『獄中記“長東日誌”』(李哲 著) 6・26 出版の集い

2021年6月26日(土)午後2時より  
PLP会館 5階大ホール

(大阪市北区天神橋3丁目9-27)

※ 著者、ならびに関係者のお話があります。

- 参加費：300円 + 本代 3,000円
- 主催：在日韓国良心囚同友会 / 李哲氏を救援する大阪の会
- 問合せ：TEL：080 - 6164 - 6215 (住谷)  
E-mail：kj.doyukai@gmail.com / korea@e-sora.net



PLP会館  
・地下鉄堺筋線「扇町駅」4番出口  
・JR大阪環状線「天満駅」南側へ